

# 博物館と福祉(仮題)

## 講師

大阪市立自然史博物館外来研究員

## 菅井薫氏

2010年 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科  
人間発達科学専攻博士後期課程修了  
博士(学術、お茶の水女子大学)

現在 大阪市立自然史博物館外来研究員

著書 『博物館活動における「市民の知」の  
あり方 ―「関わり」と「価値」の再構築―』  
学文社、2011年。  
『社会デザインをひらく』(編著書)  
ミネルヴァ書房 2024年。  
『総説博物館を学ぶ』(共著)  
同成社、2024年。  
『博物館教育論』(共著)  
放送大学教育振興会、2022年。



2024年度学会賞受賞式  
(半田会長より表彰状の授与(國學院大學))

## 受賞論文概要

本論は、博物館における福祉的実践の理論的枠組みを、本質主義と適応主義という二項対立化した観点を超えて新たな視座を提示するものである。博物館が社会的課題の解決に向けた役割を担うことが求められる中、福祉的実践が博物館本来の活動と結びついているかを明確にする必要性を指摘している。福祉的実践が外部からの圧力として捉えられる批判や、博物館の政治化を懸念する声に応答するため、理論的背景を整理し、具体的な事例分析を通じて議論を展開する。特に、博物館の文化的価値を本質的・手段的・共同体的価値として再構成する観点のもとに、それらの相互作用が福祉的実践の基盤となることを主張する。結論として、博物館の伝統的機能と福祉的実践が融合する新たな可能性を示唆し、社会における博物館の多面的な価値の重要性を提起する。

## 主催

全日本博物館学会

日時 2025年2月9日(日)  
午後7:00~8:30  
オンライン開催(ZOOM)

## 対象者

本テーマに興味のある方はどなたでもご参加いただけます。

## 申し込み方法

Googleformsにて受付  
<https://forms.gle/hFuPD4Mjs1u1n84X6>



## 先着100名様

当日のZOOMURLを2025年  
2月7日までにメールでお知らせ  
いたします。

## 申込締切

2025年2月6日まで。  
ただし、定員になり次第締切になります。

## 問い合わせ

全日本博物館学会行事担当  
zenpakugyoji@gmail.com